

7月5日(金)「平和について考える」

今日は、被爆体験を語り継ぐ「永遠の会」より講師を2名呼びして、平和学習会を行いました。私は出張のため不在でしたが、先生方の話、そして子どもたちの作文から、お二人がとても心に響くお話をしてくださったことが伝わってきました。今日は子どもの作文から3人紹介します。



『ぼくは、いまとくらべてぜんぜんあんぜんじゃないとおもいました。いまは、へいわでうれしいとおもいました。せんそうは、にとやめてください。あんで(たった一発の原子爆弾で)ひとがいっぱいぬなると、とおもいました。とおくなのたてものがたくさんこわれるなんてびっくりしました。』(1年)

『せんそうのおそろしさを教えてくださいありがとうございました。せんそうの話で人々の体がやけているし、けがをしてしんでいるところを見て、それほどせんそうがおそろしいことがわかりました。つぎは、わたしが大きくなったらみんなに教えたいです。』(2年)

『今日は平和朗読をしていただき、ありがとうございました。これまで学習で知ったこともたくさんありましたが、今日の学習会で初めて知ったことがたくさんあり、とても勉強になりました。「命の音」の作者の方は、まだ小さな子どもだったのに、想像を絶するような恐ろしい体験をされたことを思うと、戦争は絶対なくしたいと思いました。これからも命を大切にしたいです。(6年)

北小っ子には、あなたの隣にいる人を笑顔にしてほしい...もめごとがあっても、暴力ではなく話し合いで解決してほしい...それが必ず平和への第一歩となります。